

地域づくりステップアップ講座

とつか地域活動 大交流会 実施報告

1 趣 旨 地域活動に関わる人たちが会して、地域の様々な活動の楽しさや課題への解決方法などを
知り、活動への思いを共有し、新たな気づきや、交流を通してつながる場として、今後の
活動に生かせるように開催しました。

2 開催日時 令和6年2月3日(土) 10時40分～12時30分
※開催前の10時～10時30分では、「とつかお結びプロジェクト報告会」を実施

3 開催場所 戸塚区役所8階会議室

4 参加者 ○ とつかお結びプロジェクト参加団体、とつか区民活動センター登録団体
戸塚区地域づくり大学校受講者、地域活動に関わる方など 約40名
○ 学生ボランティア 5名



5 参加料 無料

会場には、各団体の活動紹介パネルなども掲出

6 ナビゲーター 手塚 明美氏 (認定NPO法人藤沢市民活動推進機構理事長)
内海 宏氏 (横浜市まちづくりコーディネーター、(株)地域計画研究所代表取締役)

7 プログラム
とつか地域活動 大交流会

(1) 開会

とつか区民活動センターが進行、大交流会のスケジュールや本日の内容などを説明



(2) みんなでトークセッション 50分

★ テーマ： 「活動を通じたコミュニティ(仲間・居場所)の持つ力」

参加された2団体に活動内容や活動している中での課題などをお話いただき、ナビゲーターのアドバイスも伺いながら、事例の中から、今後の活動のヒントや生かせることなどを話しました。

「鉄道子ども会」

会の活動は、鉄道の趣味の会と思われるが、児童の社会性やコミュニケーションの能力を伸ばすための青少年育成活動を、鉄道を切り口として行っている。

現在、入会の希望者も多くいるが、子どもを預かる体制などを考えるとなかなか活動を広げていくことも難しく、今後、会の法人化などもあるが、どのようなかたちで活動を展開していくかが課題のひとつ



「多世代地域交流食堂みらころ」

mignon (ミニョン) という団体に、だれでも利用することができる多世代地域交流食堂を令和4年度から東戸塚地区センターで展開。はじめは、一緒にやる仲間もなかったが、幸い仲間も見つかり、現在月1回の活動を行っている。利用者も集まっているが、今後の展開では、新たな活動スペースや仲間なども課題



～ナビゲーターから～

◎ 法人化は、メリット、デメリットそれぞれある。よくデメリットで書類などが大変ということも聞くが、それぞれ活動をしている中で、書類を作って、内容を共有し、公開することは、どの団体でも同じこと。法人化のメリットは、ひとつ信用が得られること、責任が個人だけの負担にならなくなるなどもあるが、どのようなかたちが良いのか、それぞれの団体の状況・活動内容などで考えていければ良いのでは。

◎ 活動を継続するには、無理のない範囲で、できることをできる時、方法でやること、居場所の例で言えば、自宅にあった設備を利用して地域の食事会の場所に開放するなど、あるものや、ある活動を利用してはじめてみることもあります。



(3) みんなで共有 30分

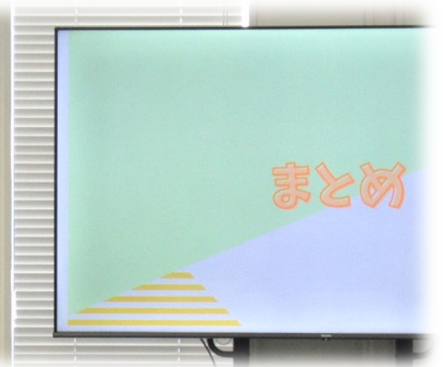
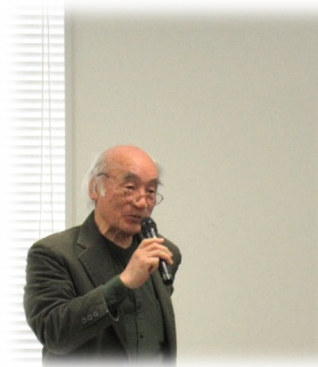
みんなでトークセッションの中で感じたことや、活動での課題などを、近くに座っている人と自由に話し合っ共有しました。



(4) ナビゲーターによる全体講評 10分

この場であえて言うなら、地域の活動を考えていく中では、活動の終わり方も考える必要があります。自分の活動で幕を引くか、地域が求める活動で、今後も続けていくのか、そのための準備も考えておくことも大切なひとつ。

横浜市内でも様々な活動が行われているので、そうした活動の事例から自分たちの活動でも生かしていけるものや、参考にできるものを見て、自分の興味、関心がもてる視点で、今後の活動を考えていくのも良いでしょう。



学生ボランティアのみなさんには、参加者から出た意見や感想などを上手に分類して見やすくまとめてもらいました！

